

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

1 調査目的

全国的な子どもの体力の状況を把握・分析し、体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、改善を図る。

また、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査概要

(1) 調査対象

小学校第5学年児童、中学校第2学年生徒

(2) 児童生徒に対する調査

○児童生徒に対する調査

- ・実技に関する調査（8種目）

【小学校】握力、上体起こし、反復横とび、立ち幅とび、50m走、長座体前屈、ソフトボール投げ、20mシャトルラン

【中学校】握力、上体起こし、反復横とび、立ち幅とび、50m走、長座体前屈、ハンドボール投げ、20mシャトルラン（中学校は持久走もとされているが、福岡市は持久走なし）

- ・質問紙調査（運動習慣・生活習慣、食習慣等）

○学校に対する調査

- ・質問紙調査（子どもの体力向上に係る取組み等）

(3) 調査期間

令和5年4月から7月まで

3 調査結果の集計について

- ・各種目については、それぞれの種目を実施した児童生徒の調査結果を集計
- ・体力合計点については、8種目全てを実施した児童生徒*の調査結果を集計

※8種目全てを実施した児童生徒数

小5男子…5,813名／約7,000名 小5女子…5,553名／約6,600名

中2男子…4,741名／約6,600名 中2女子…4,596名／約6,300名

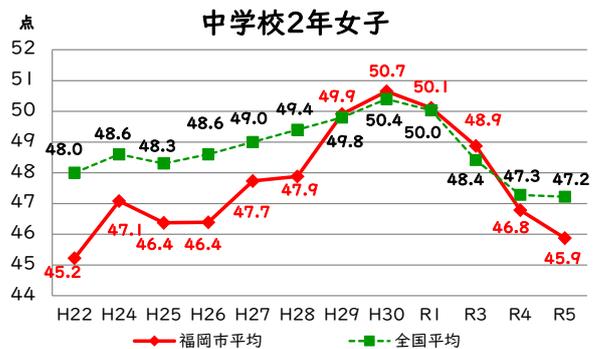
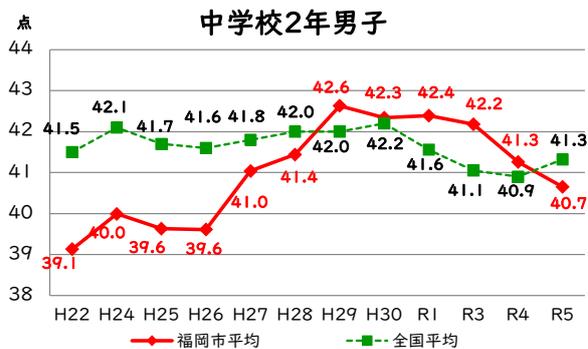
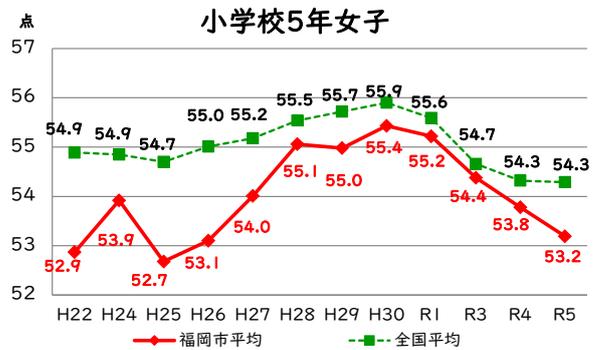
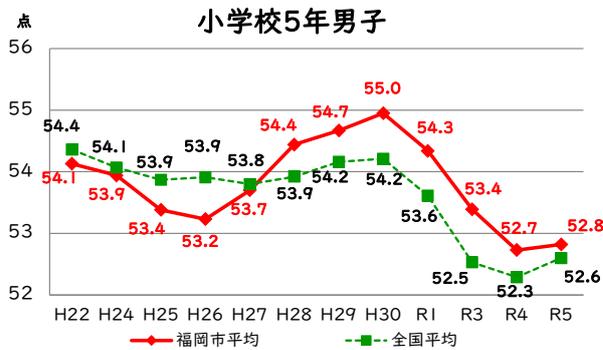
4 調査結果の概要と今後の体力向上の取組みについて

(1) 体力合計点の推移

※体力合計点とは

異なる単位の測定値を、単位が共通な 10 点満点の「ものさし（尺度）」に変換し、8 項目の実技テスト結果を合計したもの。それぞれ 1 点から 10 点の 8 項目の得点を合計するため、体力合計点は 8 点から 80 点の範囲に分布する。

(1 種目 10 点満点、10 点×8 種目=80 点、得点基準は男女で異なる)



※平成 22 年度、24 年度は抽出調査（小学校 35 校、中学 19 校）

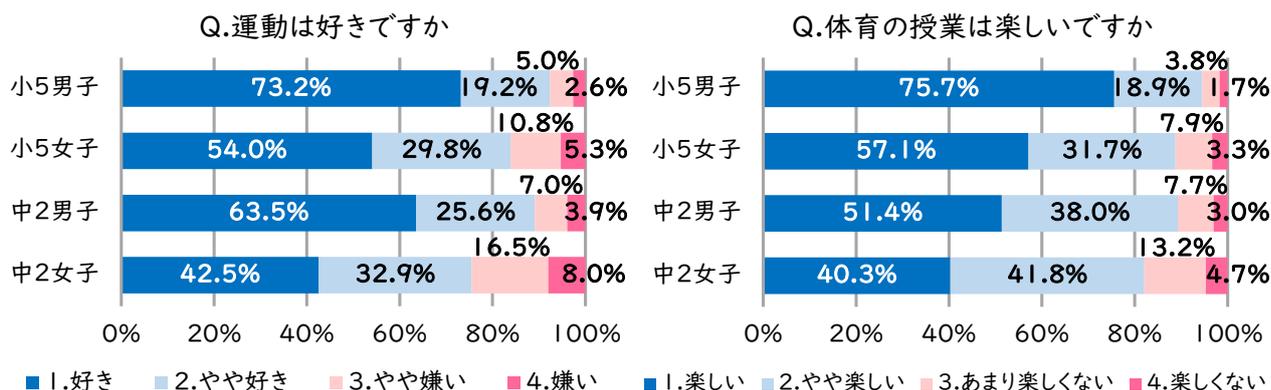
※平成 23 年度、令和 2 年度は調査中止

校種 学年	性別	昨年度との比較	全国との比較
小学校 5年	男	↗	+0.2 点（全国平均とほぼ同程度である）
	女	↘	-1.1 点（全国平均よりやや下回っている）
中学校 2年	男	↘	-0.6 点（全国平均とほぼ同程度である）
	女	↘	-1.3 点（全国平均よりやや下回っている）

- ・全国平均は男子が若干の向上、小学校女子は横ばい、中学校女子は低下している。
- ・新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し、行動制限はないが、測定時期は令和 5 年 5～7 月頃のため、今後の取組みの強化により、コロナ前の体力水準に戻していく。

(2) 体育、運動に対する意識について

○児童生徒質問紙の結果より



- ・「運動が好き」、「体育の授業が楽しい」の質問に対して、肯定的回答が80～90%を占めている。
- ・小学校5年、中学校2年の両方で、男子の方が肯定的回答の割合が高い。
- ・体育の授業や体育の授業以外での児童生徒の意欲向上の取組みを引き続き行い、女子の肯定的回答の割合を増やす。

(3) 体力が低い児童生徒への体力向上の取り組み

① 「体力が低く、運動が好き（体育が楽しい）」群について

「総合評価×児童生徒質問紙（運動が好き？・体育が楽しい？）」のクロス集計より

※総合評価とは

8種目全ての得点を合計し、総合評価基準表により、合計得点が高い方からA～Eで判定する。

総合評価	好き ←		→ 嫌い	
	好き	嫌い	好き	嫌い
小5男子	64.0%	1.6%		
A	9.8	0.3	0.0	0.0
B	20.6	1.2	0.2	0.1
C	25.9	6.2	0.9	0.5
D	13.5	7.1	1.7	0.8
E	4.0	4.2	2.0	1.1
	28.7%		5.7%	

- ・緑色の群の「体力が低く、運動が好き（体育が楽しい）」群が、25%前後を占めている。
- ・この群は、自分に合った目標設定を行い、運動ができるようになる実感をもたせ、賞賛する言葉がけを行うなどし、運動好きを継続させる。

Q. 運動やスポーツをすることは好きですか。

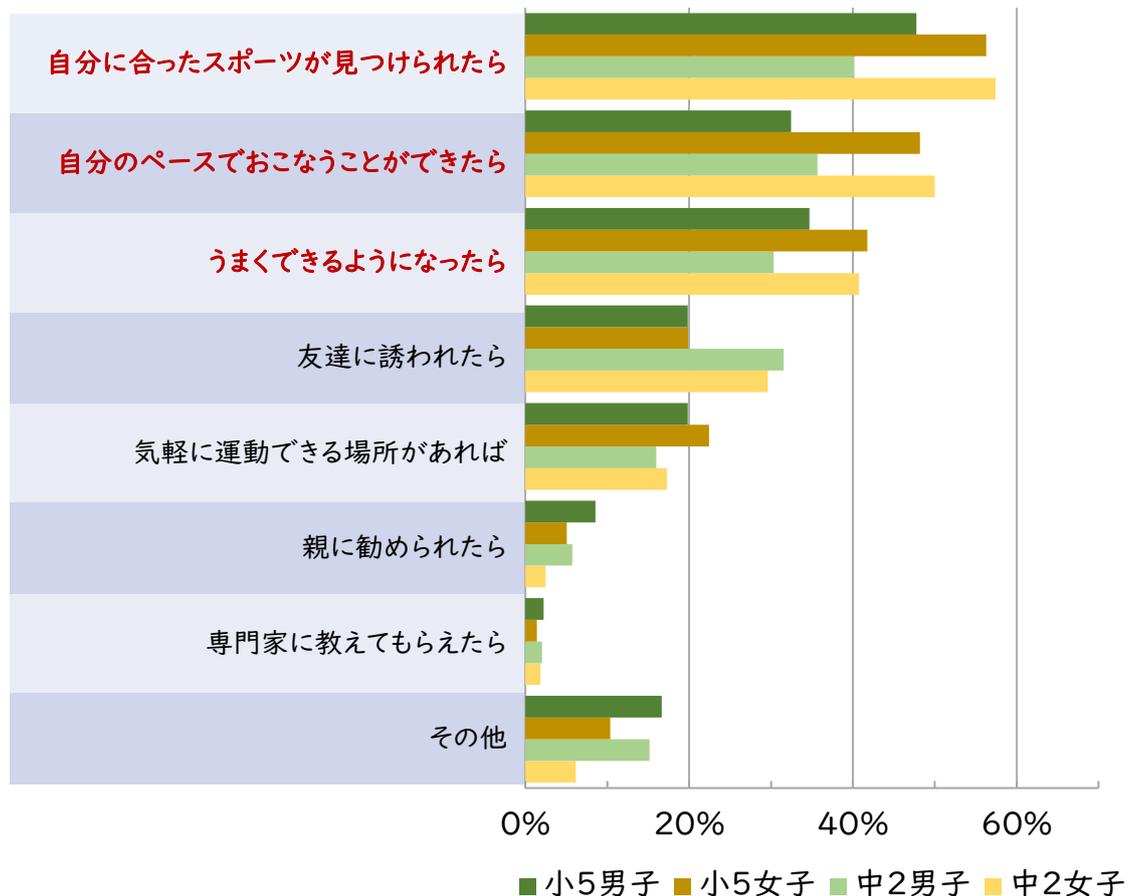
学年	性別	好き群		嫌い群	
		好き群	嫌い群	好き群	嫌い群
小学校5年	男子	64.0%	1.6%	61.1%	5.9%
	女子	23.0%	10.0%		
中学校2年	男子	63.5%	2.8%	66.6%	12.1%
	女子	9.5%	11.8%		

Q. (保健) 体育の授業は楽しいですか。

学年	性別	楽しい群		楽しくない群	
		楽しい群	楽しくない群	楽しい群	楽しくない群
小学校5年	男子	64.0%	1.6%	62.4%	4.5%
	女子	26.6%	6.4%		
中学校2年	男子	61.9%	4.4%	68.3%	10.5%
	女子	27.7%	5.9%	14.4%	6.9%

②「体力が低く、運動が嫌い（体育が楽しくない）」群

- ・「総合評価×児童生徒質問紙（Q. 運動が好き？・体育が楽しい？）」のクロス集計で、オレンジ色の群の「体力が低く、運動が好き（体育が楽しい）」群が、3～10%を占めている。
- ・運動をしたくない群（「今後、自主的に運動をしたいか」に対して、否定的回答をした群）に、「Q. 今後どのような事があれば運動したくなると思うか(複数回答可)」の回答が以下のグラフである。



・「自分に合ったスポーツが見つけれたら」、「自分のペースで行うことができた」、「うまくできるようになったら」の回答割合が高い。

・体力が低く、運動が嫌い（体育が楽しくない）な児童生徒には、まずは運動の意欲を高める必要があるため、授業の導入部分で、ゲーム性を取り入れた内容にするなど、運動に親しみをもたせる工夫が必要である。

・また、自身の技能に合った目標設定や学習活動で、運動ができるようになる体験を積み重ねる必要がある。

(4) 今後の取組みの方向性

- 豊かなスポーツライフを実現させるために、児童生徒に運動の楽しさやできるようになる喜びを味わわせ、運動習慣の形成や体力向上につなげていく。

(5) 今後の具体的な取組み

①各学校の取組み

- ・体育の授業において、運動が苦手な児童生徒をはじめ、全ての児童生徒に運動の多様な楽しみ方や運動ができる喜び味わわせる取組みを学校全体で共有し実施。
- ・体育の授業以外で、児童生徒が主体となって体育的行事を企画するなど、体力向上や運動の楽しさを実感できる取組みを計画的に実施。

②教育委員会の取組み

○授業改善に資する研修会の実施

- ・小学校・特別支援学校体育代表者連絡会
体育科学習における授業改善のポイントや安全確保、新体力テストの説明などを実施する。
- ・体力向上のための指導者研修会
日常的な運動の習慣化を促す具体的な取組みについて、指導者の実技研修を実施する。
- ・体力向上のための連絡会
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の説明と体力向上推進委員の取組みの発表などにより、今後の取組みの方向性を共通理解し、各学校の実効性ある取組み及び本市一体となった体力向上の取組みの推進に資する。

○運動習慣形成、体力向上の取組み普及

- ・小学校体育科学習実技指導員の派遣
小学校体育科学習における実技指導に関して、専門性の高い指導員を派遣し、児童の運動技能の向上に加え、運動・スポーツに対する肯定的な態度の育成と小学校教員の指導方法の普及をねらいとする。
- ・体力向上推進委員会の取組みの周知
児童生徒が、体育の授業や体育以外で運動やスポーツに対して楽しいと感じることができる取組みを体力向上推進委員が考案し、その取組みを全市に発信する。